

		<ul style="list-style-type: none"> ・教師が見本を見せる ・このゲームも真剣に「聞く」ことの練習であることを伝える。
(15分)	<p>5. 「えらそうな聴き方（無関心な聴き方）」と「真剣な聴き方」のロールプレイを見て、感じたことを発表し合う。</p> <p>①えらそうな（無関心な）聴き方 ②真剣な聴き方</p> <p>○①、②はどんな聴き方だったか、気付いたことを発表する。 ○真剣な聴き方のポイントを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①②の違いについて、非言語面に目を向けさせる。 <p>《真剣な話の聴き方のポイント》</p> <ol style="list-style-type: none"> ①話す人の方に体を向ける ②話す人の顔を見る ③最後まで話を聴く ④よそ見や手いたずらしない ⑤タイミングよくうなずいたり、相づちをうったりする ⑥最後に質問や感想を付け足す ⑦話しやすい雰囲気をつくる
(15分)	<p>6. 2人組で真剣な聴き方の練習をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>お題は 「私の好きな食べ物、私の好きなもの・・・」 「今、はまっているもの」など</p> </div> <p>7. 振り返りをする。</p> <p>○ワークシートに話の聴き方の評価を記入する。 ・ポイント①～④は自己評価、ポイント⑤～⑦は話をした相手に評価してもらう。</p> <p>○ワークシートをもとに話合う。</p> <p>(1) ペアの2人組で話を聴いてもらって感じたことをそれぞれが発表し合う。 (2) 全体で、感想を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手と聴き手は1分で交代する。 ・タイマーで終わりの時間を知らせる。 ・話がつまってしまう生徒に対しては、あらかじめ書いておいたシナリオを見てもよいことを告げる。ただし、書いてあることをただ読むのは禁止する。 ・ペアでの発表は一人30秒ずつ時間を区切って、感想をそれぞれに発表させる。 ・真剣に聞いてもらうとうれしいという気持ちを味わわせたい。 ・よい聴き方を取り上げ、例示する ・発表の聴き方にも注意させる。
まとめ 5分	<p>8. まとめをする。 ワークシートに今日の授業の感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聴いてもらうことが、相手に受け入れられているという感じや安心感につながることに触れる。 ・日常生活の場面でも今日の授業を生かして生活できるようにしていくことを告げる。

振り返りシート

年 組 番 名前

上手な話の聴き方のポイントをチェックしよう



話の聴き方のポイント①～④は自分でチェック、
ポイント⑤～⑦は話をした人に聴き方を判定してもらうこと！！
ばっちり☆3つ、まあまあ☆2つ、残念☆1つ

	上手な話の聴き方のポイント	判 定
基本 レベル	① 話す人の方に体を向ける	☆ ☆ ☆
	② 話す人の顔を見る	☆ ☆ ☆
	③ 最後まで話を聴く	☆ ☆ ☆
	④ よそ見や手いたずらをしない	☆ ☆ ☆
達人 レベル	⑤ タイミングよくうなずいたり、 相づちをうったりする	☆ ☆ ☆
	⑥ 最後に質問や感想をつけたす	☆ ☆ ☆
	⑦ 話しやすい雰囲気をつくる	☆ ☆ ☆

今日の授業の感想を書きましょう

(わかったことやこれからがんばっていきたいことなど思ったことを書いてください)



「上手な話の聴き方」シナリオ

私の好きなこと・好きなもの

1 私の好きな色は()色です。
どうしてかというと

2 私の好きな動物は()です。
どうしてかというと

3 私の好きな食べ物は()です。
どうしてかというと

4 私の好きな()は()です。
どうしてかというと



めざせ！聴き方の達人

年 組 番 名前

話の聴き方のポイント①～④は自分でチェック、
ポイント⑤～⑦は話をした人に聴き方を判定してもらうこと！！
ばっちり☆3つ、まあまあ☆2つ、残念☆1つ



聴き方のポイント		チャレンジした日	10月	10月	10月	10月
			日	日	日	日
基本 レベル	①話す人の方に体を向ける	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆
	②話す人の顔を見る	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆
	③最後まで話を聴く	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆
	④よそ見や手いたずらをしない	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆
達人 レベル	⑤タイミングよくうなずいたり、 相づちをうったりする	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆
	⑥最後に質問や感想をつけたす	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆
	⑦話しやすい雰囲気をつくる	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆

今回のチャレンジは

☆

個

49個以下
修行中

まだまだ修行が
足りないようです！
これからも意識して
聴き方の達人を目指して
がんばろう！

50～79個
達人見習い

おいしい！
あと少しです！
君ならきっと達人になれる。
期待してるよ！

80個以上
達人レベル

すばらしい！
君はりっぱな達人です！
色々な話を聴いて
さらに道を究めましょう！

これからがんばりたいことや感想を書きましょう

学級活動学習指導案 中学校 1 年

1. ねらい

自分の持っている情報を、言葉によって確実にメンバーに伝える作業を通して、話し合いでの大切な行動・態度に気付く。

○自分が持っている情報を正確に伝え、正しく聴くことの重要性に気付く

○情報を集めてまとめるときに、協力の大切さ（協力の仕方）について学ぶ

2. 準備 ①マンシヨンの図…1グループ1枚 ②情報カード…1グループ1セット
 ③ふりかえりシート ④解答

3. 展開

	学習内容	学習活動	留意点
導 入 (10)	1. グループづくり 2. 何も書き入っていないマンシヨンの図を配り、課題と約束を伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員から指示されたグループをつくる。 <p>課題 先生ばかりが住んでいるマンシヨンがあります。どの部屋に、どの先生が住んでいるのでしょうか。これから配るカードをもとに、みんなで話し合っ、図に先生の名前を書き入れてみましょう。</p> <p>約束1 自分もらったカードは、人に見せてはいけません。 約束2 カードに書いてある内容は、グループの人に言葉で伝えてください。 約束3 グループの人に質問したり、意見を言ったりする方法は自由です。 約束4 時間は20分間です。5分前、3分前になったら知らせます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・机をつけやすい4～5人ほどのグループを指示する。 ・学級の生活班でグループを組ませる。
展 開 (35)	3. グループワーク・トレーニングを始める。 4. 終了、解答発表 5. ふりかえりをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○グループワーク・トレーニングを始める。 ・封筒に入っているカードを裏返しにしてグループのみんなでトランプを配るようにわせる。 ・課題を解決するために話し合う ・メモを取る など ・説明を聞きながら、ふりかえりシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を計る（20分） ・グループの動き、個人の動き、グループの集中度などをチェックする ・5分前の合図をする ・3分前の合図をする ・ふりかえりシートを配り、書き方を説明する。 ・記入するのは、良かったことのみで、批判はしないことを守らせる。
ま と め (5)	6. まとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの改善すべき点はどんなところにあるのか、自覚する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うまくいったグループをとりあげて、どうしてうまくいったのかを説明する。 ・ふりかえりシートはグループごとに回収する。

振り返りシート

年 組 番 名前 _____

1 あなたは活動中にどう感じましたか。(数字に○を付けてください)

①自分の考えを進んで言うことができましたか

言 え た 4 3 2 1 言えなかった

②グループのみんなに考えを聴いてもらえましたか。

聴いてもらえた 4 3 2 1 聴いてもらえなかった

③グループのみんなの考えをよく聴くことができましたか。

聴くことができた 4 3 2 1 聴けなかった

④課題を解決するために努力しましたか。

努 力 し た 4 3 2 1 努力できなかった

2 グループについてどう感じましたか。

①リラックスしている 4 3 2 1 ぎすぎすしている

②まとまっている 4 3 2 1 ばらばらである

③積極的である 4 3 2 1 消極的である

3 次の質問に当てはまるのはだれですか。(自分だと思うときは自分の名前を書こう)

1. 先生の名前を書いたのは誰ですか	
2. たくさん意見を出した人は誰ですか	
3. いい考えを出した人は誰ですか	
4. みんなの意見をまとめようとしたのは誰ですか	
5. 自分の意見。を言いやすくしてくれた人は誰ですか	

4 「先生ばかりが住んでいるマンション」をして他によかったことや気が付いたことを書きましょう。

振り返りシート

年 組 番 名前

1 あなたは活動中にどう感じましたか。(数字に○を付けてください)

①自分の考えを進んで言うことができましたか

言 え た 4 3 2 1 言えなかった

活動中の自分に対する振り返り

自己評価に対して、本人になぜそう感じたのか(評価したのか)を聴いてみることで新たな気づきにつながることもある。また、評価を一つあげるためには自分がどうなったらよいかを考えさせるのもよい。

②グループのみんなに考えを聴いてもらえましたか。

聴いてもらえた 4 3 2 1 聴けなかった

③グループのみんなの考えをよく聴くことができましたか。

聴くことができた 4 3 2 1 聴けなかった

④課題を解決するために努力しましたか。

努 力 し た 4 3 2 1 努力できなかった

2 グループについてどう感じましたか。

活動中のグループに対する振り返り

①リラックスしている 4 3 2 1 ぎすぎすしている

②まとまっている 4 3 2 1

③積極的である 4 3 2 1

高い評価をする生徒が多い中、1, 2の低い評価をした生徒に、評価の理由を聞いてみることも大事。実践では「リーダー的な生徒が一人でみんな行っていて、何もできなかったのでつまらなかった」などの感想も出てきた。協力して行うには、それぞれに役割があることや互いの考えを聴き合うことなど、グループ活動の仕方に気付くことができた。

3 次の質問に当てはまるのはだれですか。(自分だと思うときは自分の名前を書こう)

活動中の行動に対する振り返り

1. 先生の名前を書いたのはだれですか
2. たくさん意見を出した人はだれですか
3. いい考えを出した人はだれですか
4. みんなの意見をまとめようとしたのはだれですか
5. 自分の意見。を言いやすくしてくれた人はだれですか

名前の欄に「みんな」「全員」と記入した生徒が多かった。しかし、活動をしっかりと振り返らせるためには、個人名を書かせるようにした方がより具体的な理由が伝えられ、活動中のリーダーシップのとり方にも気付くことができる。活動に一生懸命だと誰がどのような行動をとっていたかなどを考えずに活動していた自分に気付くことができる。

4 「先生ばかりが住んでいるマンション」をして他によかったことや気がついたことを書きましょう。

振り返りでは、教師として、生徒にどのようなことに気付いてもらいたいと考えたかによって、最後のまとめで取り上げる内容が変わってくる。実践をして感じたことは、生徒が活動している様子をじっくり見守ることがとても大切であることを感じた。また、活動中、生徒に質問されるとすぐに答えたくなくなってしまうことや教えたくなる自分がいることに気がついた。

指示書

先生ばかりが住んでいる3階建てのマンションがあります。どの部屋にどの先生が住んでいるのかを考えてもらいます。これから配るカードをもとに、みんなで話し合っ、図に先生の名前を書き入れましょう。

- リーダーは、封筒の中に入ったカードをみんなに見せないように取り出してください。
- カードはトランプのようにきって、みんなに配ってください。
- カードに書かれていることは、自分の言葉で他の人に伝えるようにしてください。
- 他の人に見せたり、取りかえたりしてはいけません。

また、他のグループの人とは話さないでください。

<p>1. 近藤先生は、1階の一番はじ す に住んでいる。</p>	<p>2. 中森先生の両どなりには、近藤 せんせい たけだせんせい す 先生、武田先生が住んでいる。</p>
<p>3. 大竹先生は、エレベーター ひだり す の左どなりに住んでいる。</p>	<p>4. 小森先生、安村先生、武田先生の部屋はな いっちよくせん なめに一直線にならんでいる。</p>
<p>5. 南野先生と北野先生はエレベータ どうし ーをはさんでとなり同士である。</p>	<p>6. 田原先生と小森先生は、 おなじかい す 同じ階に住んでいる。</p>
<p>7. 北野先生の部屋は渡辺先生と田原 せんせい へ や じょうげ 先生の部屋に上下ではさまれている。</p>	<p>8. 松田先生の右ななめ上に みやおせんせい す 宮尾先生が住んでいる。</p>
<p>9. 中森先生の1つ上に やすむらせんせい す 安村先生が住んでいる。</p>	<p>10. 宮尾先生と大竹先生は、 おおたけせんせい となりどうしである。</p>
<p>11. 南野先生は、松田先生の みぎ す 2つ右に住んでいる。</p>	<p>12. 小森先生と松田先生と近藤先生 おな れつ す は、同じ列に住んでいる。</p>
<p>13. 松田先生はエレベーターから、 いちばん ところ す 一番はなれた所に住んでいる。</p>	<p>14. 田原先生は、近藤先生の部屋から いちばん へ や す 一番はなれた部屋に住んでいる。</p>

先生ばかりが住んでいるマンション

()班 班員名()

()

先生ばかりが住んでいるマンション

			エレベーター	

先生ばかりが住んでいるマンション(答え)

先生ばかりが住んでいるマンション

小森先生	宮尾先生	大竹先生	エレベーター	田原先生
松田先生	安村先生	南野先生		北野先生
近藤先生	中森先生	武田先生		渡辺先生

理科学習指導案(略案)

中学校 1 年理科

単元：身のまわりの物質とその性質（「白い粉末状の物質を区別するには」 1 / 2）

《本時のねらい》

白い粉末状の物質を区別する方法を考え、物質にはそれぞれ特有の性質があり、性質を知ることが物質を区別する手がかりになることが分かる

《準備》

白い粉末 4 種類

《砂糖（グラニュー糖）、食塩、デンプン（片栗粉）、チョークの粉（炭酸カルシウム）》

試験管 試験管立て 薬包紙 ガスバーナー マッチ 燃え差し入れ

ゴム栓 ヨウ素液 アルミ容器 マドラー 薬包紙 ワークシートなど

学習活動	学習形態 (時間)	生徒の動き(考え)	指導上の留意点 (●は生徒指導の機能)
1. 本時のねらいを確認する。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ねらい 白い粉末状の物質を区別するにはどうしたらよいか考えよう </div>			
○「身のまわりにある白い粉末状の物質にはどんなものがあるか」付せん紙に自分の知っている白い粉末を書き出す。 ○4人グループで互いに書いた物質を伝え合う。 ○全体で発表し合って、確認する。	一斉 グループ	(生徒の考え) ・砂糖 ・塩(食塩) ・片栗粉(デンプン) ・小麦粉 ・石灰 ・重曹 ・小麦粉 ・ベーキングパウダー など	●1分間で思いつくまま付せん紙に書かせる ●時間を決めて書かせることでゲーム感覚で自分の意見を書かせていく <自己決定の場>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 課題： 白い粉末状の物質を根拠を明確にして区別しよう </div>			
2. 見た目では4種類の白い粉末状の物質を区別する。 4種類の粉末は「砂糖、食塩、片栗粉(デンプン)、チョークの粉」を使う。 ○4人グループで観察し、予想を立てる。	グループ 20分	○ルーペで観察や手触りなどを基に予想する。 (生徒の予想の根拠) ・粒が四角いのが食塩 ・粒の大きさが大きいから砂糖(塩)かな? ・触るとべたべたする方が砂糖 ・粒が細かいのが片栗粉 ・手で触ると白くなったので、チョークの粉 ・さらさらした手触りが片栗粉 ○観察しながら、互いに考	○赤、青、黄、緑のテープを貼った容器に白い粉末状の物質を入れておき、生徒に取りに来させる。 ○ルーペを使わせ、粒の様子をしっかりと観察させると共にルーペの使い方の確認もする。 ○手で触ってみるのもよいことを伝える。 <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> ●じっくり観察させることで全員が考えを記入できるようにする。 <自己決定の場> </div>

<p>○全体で予想とその根拠の確認をする。</p>		<p>えを伝え合う。」 ○予想とその根拠を代表が発表する。</p>	<p>○グループの代表は教師が指名する。</p>												
<p>3. 見た目や手触り以外にこの4種類の白い粉末状の物質を区別する方法にはどんな方法があるかを考え、発表する。</p>	<p>グループ 10分</p>	<p>(生徒の考え) ・水に溶かす ・水に溶かして、BTB溶液、リトマス紙を入れてみる。 ・水に溶かしてから加熱する ・粉を加熱する ・ヨウ素液をかける (デンプ反応をみる) ・塩酸をかけてみる など</p>	<p>○見た目、手触り、なめる以外でどのような方法があるか考えるようにさせる。 ○本来、手触りも大変危険な方法であることも伝える。 ○グループごとに相談させ、できるだけたくさん方法をださせていく。 ○方法とその結果をについて考えられるようにさせる。</p>												
<p>4. 今日の授業の振り返りをする。</p> <p>○グループ・プロセスの振り返り(自分)の評価と感想を書く。 ○自己評価と感想を一人一人グループのメンバーに伝える(互いに聴き合う)。</p>	<p>グループ 10分</p>	<p>(自分への振り返りの観点) ①意見が言えたか ②意見が聴いてもらえたか ③意見を聴けたか ④積極的に活動できたかで自己評価する。 ○今日の感想を書く。</p> <p>○自分の自己評価と感想を伝え合う。 ○聴き方のポイントに意識して友達の感想を聴く。</p>	<p>○振り返りシートを使って、自己評価をさせる。 ○評価の段階ではグループのメンバーとの相談はなしで自分の考えで記入するようにさせる。</p> <p style="border: 2px solid red; padding: 5px; color: red;">●自己評価と感想をグループのメンバーで伝え合う時には「傾聴」のスキルが活用できるように聴き方のポイントを掲示すると共に全体で確認をしてから行わせる。〈共感的な人間関係〉</p>												
<p>上手な話の聴き方のポイント</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">基本レベル</td> <td style="width: 45%;">①話す人の方に体を向ける</td> <td style="width: 40%;">②話す人の顔を見る</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③最後まで話を聴く</td> <td>④よそ見や手いたずらをしない</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">達人レベル</td> <td>⑤タイミングよくうなづいたり、相づちを打ったりする</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑥最後に質問や感想を付け足す</td> <td>⑦話しやすい雰囲気をつくる</td> </tr> </table>				基本レベル	①話す人の方に体を向ける	②話す人の顔を見る		③最後まで話を聴く	④よそ見や手いたずらをしない	達人レベル	⑤タイミングよくうなづいたり、相づちを打ったりする			⑥最後に質問や感想を付け足す	⑦話しやすい雰囲気をつくる
基本レベル	①話す人の方に体を向ける	②話す人の顔を見る													
	③最後まで話を聴く	④よそ見や手いたずらをしない													
達人レベル	⑤タイミングよくうなづいたり、相づちを打ったりする														
	⑥最後に質問や感想を付け足す	⑦話しやすい雰囲気をつくる													
<p>5. まとめと次回の授業の確認をする。</p>	<p>一斉</p>	<p>○授業の感想を発表する。 ○確認した4種類の粉末の結果をもとに粉末の判別をする実験を行うことを知る。</p>	<p>○生徒の振り返りを全体で紹介したり、活動がよくできたグループを紹介したりしながら、グループ活動での役割分担の大切さを感じさせる。</p>												

理科学習指導案(略案)

中学校 1 年理科

単元：身のまわりの物質とその性質（「白い粉末状の物質を区別するには」 2 / 2）

《本時のねらい》

白い粉末状の物質を区別する実験を行い、その正体を根拠を明らかにして、区別する

《準備》

白い粉末 4 種類・・・《砂糖（グラニュー糖）、食塩、デンプン（片栗粉）、
チョークの粉（炭酸カルシウム）》

試験管 試験管立て 薬包紙 ガスバーナー マッチ 燃え差し入れ
ゴム栓 ヨウ素液 アルミ容器 マドラー 薬包紙 ワークシートなど

学習活動	学習形態 (時間)	生徒の動き(考え)	指導上の留意点 (●は生徒指導の機能)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 課題 4 種類の白い粉末状の物質を根拠を明確にして判別しよう </div>			
1. 本時のねらいと実験における注意事項を確認する。 ○実験では、 ①粉末を水に溶かす ②粉末を加熱する の二つの方法を行う。	一斉 5分	○自分の分担する薬品をグループごとに決める ・自分の担当する薬品は（ ）だ。	○ガスバーナーの使い方を黒板に提示し、必要なグループにはガスバーナーのチェックリストを配布する。 <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; color: red; text-align: center;"> ●一人が一つの粉末を担当し実験を行うことを伝え、責任をもって取り組ませる 〈自己存在感を与える〉 </div>
2. 白い粉末の判別する実験を行い、グループごとに白い粉末状の物質の正体を根拠を明確にして判別する。 4 種類の粉末は、 赤「砂糖」 青「デンプン（片栗粉）」 緑「食塩」 黄「チョークの粉」 で実験を行う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">グループ</div> 15分	○班の代表者が薬品と実験に必要なものを持って行く。 ○自分の分担である薬品に対して、責任を持って実験を行う。	○グループ内での相談や話し合いはよいが、他のグループの人と話すことはなしとする。 ○ガスバーナーを使うので、机の上に必要ないものは置かせないように指示する。 ○実験台と観察台を確認しておく。 ○白い粉末が混ざらないように、薬品ごとのマドラーを使うようにする。 ○安全メガネを付けさせる。 （メガネをかけている生徒はかけなくてもよい）
3. 結果から白い粉末状の物質の正体を根拠を明確にして区別する。 ○ホワイトボードに薬品名と	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">グループ</div>	○グループ内でそれぞれの実験結果の共有を行い、結果をワークシートに書き込む。	○「水への溶け方」と「加熱したときの変化の様子」を踏まえて、粉末を区別する根拠を書かせるようにする

<p>その根拠を記入し、記入できたグループは黒板に貼る。(10分)</p> <p>4. 実験結果の確認をする ○グループの代表が結果を発表する。</p>	<p>20分</p>	<p>○結果から薬品名とそう判断した根拠を書く。 赤「砂糖・・・加熱したら甘いにおいがして焦げた」 青「デンプン・・・水に溶けない。加熱したら焦げて煙が出た」 緑「食塩・・・加熱したら、ぱちぱちはねた」 黄「チョーク・・・ 水に溶けないし加熱しても変化がない」 ○板書された他のグループの結果と自分のグループの結果を比べる。</p>	<p>○グループで相談させ、ホワイトボードに薬品名と根拠を書かせる。 ○ワークシートにも記入しておくように伝える。 ○班の結果を黒板に掲示しておく。 ○科学的にしっかりと根拠が書かれているものはどれかを生徒に判断させ、根拠の書き方も確認しておく。 ○粉末の正体を伝える。</p>						
<p>5. 振り返りをする ○グループ・プロセスの振り返り（行動）と感想を書く ○自己評価と感想を一人一人グループのメンバーに伝える（互いに聴き合う）。</p>	<p>10分</p>	<p>○振り返りシートにグループ・プロセスの振り返りを記入し、記入した理由を伝え合う。</p> <p>(振り返りの観点) ①積極的に活動していたの誰ですか ②たくさん意見を出した人は誰ですか ③いい考えを出した人は誰ですか ④みんなの意見をまとめようとしたのは誰ですか ⑤自分の意見を言いやすくしてくれた人は誰ですか</p>	<p>○活動の中での自分や自分とかわかったメンバーの様子を振り返らせるようにする。</p>						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">上手な話の聴き方のポイント</th> </tr> <tr> <td>基本レベル</td> <td>①話す人の方に体を向ける ②話す人の顔を見る ③最後まで話を聴く ④よそ見や手いたずらをしてしない</td> </tr> <tr> <td>達人レベル</td> <td>⑤タイミングよくうなづいたり、相づちを打ったりする ⑥最後に質問や感想を付け足す ⑦話しやすい雰囲気をつくる</td> </tr> </table>		上手な話の聴き方のポイント		基本レベル	①話す人の方に体を向ける ②話す人の顔を見る ③最後まで話を聴く ④よそ見や手いたずらをしてしない	達人レベル	⑤タイミングよくうなづいたり、相づちを打ったりする ⑥最後に質問や感想を付け足す ⑦話しやすい雰囲気をつくる	<p>●自己評価と感想をグループのメンバーで伝え合う時には「傾聴」のスキルが活用できるように聴き方のポイントを掲示すると共に全体で確認をしてから行わせる。〈共感的な人間関係〉</p>	
上手な話の聴き方のポイント									
基本レベル	①話す人の方に体を向ける ②話す人の顔を見る ③最後まで話を聴く ④よそ見や手いたずらをしてしない								
達人レベル	⑤タイミングよくうなづいたり、相づちを打ったりする ⑥最後に質問や感想を付け足す ⑦話しやすい雰囲気をつくる								
<p>6. まとめをする。</p>		<p>○感想を発表する。</p>	<p>○よかった点を伝えられるよう声かけをする。 ○活動中に準備や片付けなど率先して行っていた生徒を紹介していく。</p> <p>●グループの中で互いに認め合う活動を行う。 ●まとめの中で生徒の感想や活動の様子を伝える。 〈自己存在感を与える〉</p>						

振り返りシート

平成 年 月 日()

年 組 番 名前

1. 二人組やグループ活動を振り返ってどうでしたか。(数字に○を付けてください)

①自分の考えを進んで言うことができましたか。

言 え た 4 3 2 1 言えなかった

②グループのみんなに考えを聞いてもらえましたか。

聞いてもらえた 4 3 2 1 聞いてもらえなかった

③グループのみんなの考えをよく聴くことができましたか。

聴くことができた 4 3 2 1 聴けなかった

④課題を解決するために努力しましたか。

努 力 し た 4 3 2 1 努力できなかった

2. 今日の授業で分かったこと・気付いたことを書きましょう

(勉強の内容、グループ活動での友達のよかったところなどを書き留めておきましょう)

振り返りシート

平成 年 月 日()

年 組 番 名前

1. グループのメンバーの中で、次の質問に当てはまるのは誰ですか。

(自分だと思うときは自分の名前を書こう)

1. 積極的に活動していたのは誰ですか	
2. たくさん意見を出した人は誰ですか	
3. いい考えを出した人は誰ですか	
4. みんなの意見をまとめようとしたのは誰ですか	
5. 自分の意見を言いやすくしてくれた人は誰ですか	

2. 今日の授業で分かったこと・気付いたことを書きましょう

(勉強の内容、グループ活動での友達のよかったところなどを書き留めておきましょう)